

『歯を守れ！予防歯科に命を懸けた男 日吉歯科診療所・熊谷崇の挑戦』

を読んだ感想

つきやま歯科医院 総合診療医 古本かおり

この本は、カンブリア宮殿のプロデューサーの竹田晋也さんが、日吉歯科医院を訪れて取材を行うなかでの出来事を書き記したものであるが、私たち歯科医療関係者以外の方が、日吉歯科医院を見学し、そこで行われている医療や、スタッフ、そこに通っている患者さんに触れ、色々な驚きや発見をし、価値観が変わっていく様子が書かれてあってとても興味深かった。

私たちつきやま歯科医院に勤めるスタッフのほとんどは日吉歯科医院を見学し、同じ志で日々診療室に立っているが、圧倒的に違うのは、地域社会に根付いていること、貢献していること、そして、患者さんに情報として提供できる資料がきちんと保管されていることであるように感じた。それによって、家族ぐるみでの来院やメンテナンスの継続、0歳からの予防教育が達成でき、カリエスフリー・ペリオフリーの患者さんを育てることができているのだと思う。

日吉歯科医院に通院している多くの患者さんが、歯科医院に通うのを楽しみにされているように、つきやま歯科医院でも、健康に価値を見だし、健康でいるために通ってもらえるように、もっと徹底した健康教育と社会への啓蒙、そして私たち医療者側も勉強し続けること、チームで連携を行うことを、今以上にやっていかなければならないと感じた。

最後に、熊谷崇先生のぶれない信念には、やはり心を打たれました。大切なのは、正しいと思うことに対して、妥協しないことであると思う。この本を読んで、自分自身の診療も振り返ることができたので、とても良い機会になった。